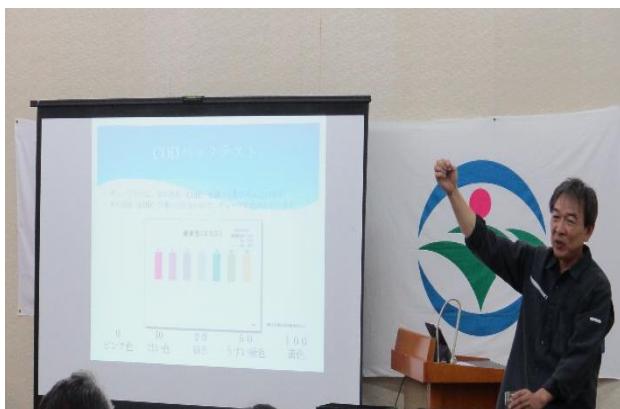


平成28年度、徳島県シルバー大学校で環境講座を始めました。

＜水質環境担当＞

徳島県は豊かできれいな水環境に恵まれ全国的にみても高い環境基準の適合状況にあります。中小河川等においては、未処理の生活排水や未規制事業場等の排水に起因しているとみられる水質汚濁が見受けられます。そこで住民の方々が身近な水環境への関心を持ち、理解を深めることを目的に、環境管理課とともに「みんなでできる水環境の保全」環境講座を平成28年度、徳島県シルバー大学校で開催いたしました。



環境講座では当センター、水質環境担当の業務内容や水の汚れとCODについて、COD簡易水質検査キット（パックテスト）の使用方法を説明した後、実際に様々な水のCODを測定しました。

水質汚濁の指標であるCODは有機物による水の汚れを示す量で、数字が大きいほど汚れている状態を表します。CODパックテストで水道水や近隣の河川の水、模擬生活排水などを検査した後、検査の結果から実際の見た目などからよごれ具合を判別する難しさや、身近な河川の状態について、さらに生活排水について現在の状況などに理解を深めてもらいました。

鳴門第一小学校と鳴門第一中学校で環境教育実習を実施しました。

昨年度に引き続き、小中学生を対象に「みんなで水質汚濁を考える教室」を開催しました。

教室の内容は、生活排水が河川等の水質に及ぼす影響について鳴門市、県東部県土整備局の職員の方々が講義を行い、その後に保健製薬環境センター水質環境担当の職員が実習を行いました。

【実習内容】

- 1、水の汚れについて
 - 2、CODパックテストの使用方法説明
 - 3、水道水や川の水の水質検査実習
 - 4、様々な生活排水の水質検査実習
- ※ 内容については学校ごとに多少異なります



実習の中で、パックテストの値を予想したり色の変化を楽しむ生徒や、生活排水のCODの値に驚く生徒など、普段行わない検査に興味津々な様子でした。環境教育実習を通して、徳島県の水環境保全の大切さ、日常の生活で水を汚さないよう工夫するなど、多くを学んでもらいました。